令和６年度　第３回　印西市立図書館協議会会議録

１　開催日時　令和７年２月２７日（木）午前１０時００分から午後０時０５分
２　開催場所　印西市文化ホール　２階　大会議室
３　出席委員　飯尾委員、和田（亜）委員、中嶋委員、黒澤委員、石ケ谷委員
　　関口委員、樋口委員、大和委員、和田（剛）委員
４　事 務 局　秋谷大森図書館長、根本大森図書館副館長、伊藤主査、寺嶋主査
　　齊藤主査、吉野主査、鈴木主任主事
５　傍 聴 者　５名
６　会議内容　議事
　　（１）　令和６年度事業の経過報告及び
　　印西市立図書館サービス計画の進捗状況について
　　（２）　令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び
　　事業計画（案）について
　　（３）　印西市子ども読書活動推進計画について
　　（４）　その他

会議要旨（要点筆記）

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音機材の設置の了解】
【大森図書館長あいさつ】
【委員長あいさつ】

〈進行〉　それでは、議事に入らせていただきたいと思います。
議事進行につきましては、印西市立図書館設置条例施行規則第２１条第１項の規定により、委員長が議長となることとされておりますので、黒澤委員に議長をお願いいたします。

〈議長〉　それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
会議の円滑な進行にご協力をお願いします。

【会議録署名委員の指名】
〈議長〉　はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行います。
名簿順にお願いしておりますので、今回は中嶋委員を指名させていただきます。

【議題】

議題（１）令和６年度事業の経過報告及び
印西市立図書館サービス計画の進捗状況について

〈議　長〉　それでは、議事に入りたいと思います。議題（１）令和６年度事業の経過報告及び印西市立図書館サービス計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉　議題（１）令和６年度事業の経過報告及び印西市立図書館サービス計画の進捗状況について説明

〈議　長〉　只今、事務局から説明がありましたが、この内容に関しまして、質疑等がございましたら、挙手をお願いします。

〈委　員〉　学校の方では、職場体験が再開され受け入れていただいて、大変ありがたく思っている。
地域資料の収集のところで、「ふるさといんざい」という事で中学校でも取り組んでいるところだが、デジタル化を推進しますという事で検討すると書かれているが、是非タブレット等でも調べられるようにしていただきたい。本になると限られた人数しか、その時に調べたり、見たり出来ないというところもあるので、デジタル化を進めていただきたい。

〈議　長〉　意見ということで、特に回答はよろしいか。

〈委　員〉　３ページのブックリストも小学校でも受け取った。２部頂いているので図書室に表裏見えるように貼ってある。もう少し部数があればいいなと思いつつ学校で工夫をすればいいのかなと思っている。
図書室に来る子どもたちはよく見ているよう。
スクリレも使っていただきありがとうございます。助かります。
次年度、図書館間の連絡車が毎日動くということなので、学校からの団体貸出で、本を借りに行くときの本も、今、職員で取りに行っているが、そこに乗せてもらえるといいなという希望である。

〈議　長〉　これに対して事務局からお願いしたい。学校は、ルートに載せていないのか。

〈事務局〉　学校には、スクール便という定期的な団体貸出はあるが、それぞれの先生からの団体貸出の依頼について連絡車は行っていない。

〈委　員〉　職員がお願いして取りに行く形なので、もし走るなら学校にも来てくれるといいなという意見である。

〈議　長〉　要望があったら取りに行くような契約に変えていただけるといいのでは。回っているからどこかの学校にというのは、すごく時間がかかったり業者との契約もあるので、難しいと思うが、またそれとは別に学校から依頼があった時に寄れるようなルートをこれから研究してもらえると団体貸出の依頼がしやすくなったりすると思うので是非、検討していただきたい。それも費用がかかるが、でもやっぱり学校連携は大事で、その配送というのはどうしても大事なので検討していただけるといいと思う。よろしくお願いしたい。

〈事務局〉　学校の先生が配送するのは年間何回あるのか。

〈委　員〉　今の学校は、ほとんど行っていない。

〈議　長〉　ルートを開発してあげれば依頼が増える。

〈委　員〉　団体貸出のかたちではお願いしていない。必要なものを学校から近いファミリア館内にある本埜図書館に行き、何十冊と借りたりしている。

〈事務局〉　年間どれぐらい借りに行くのか。

〈委　員〉　そんなにはない。調べ学習で使うまとまり単位で行くので、定期的ではない。「はたらくじどうしゃ」の本が学校にもあるが、今学年で１００人ぐらいいるので、デジタルの資料も使いつつ、本もあるといいなと思い借りに行っている。
いつもニーズがある訳ではない。

〈事務局〉　検討するにもいろいろなことが分からないといけないので参考のために伺った。

〈議　長〉　白井市には、学校配送便というのがありニーズがある。
連携を密にしているので、調べ学習のときとか必要な本を学校配送しているので、そういう配送ルートがきちんとするともっと借りやすくなると思うので、今少ないからといって、これからもっと連絡を密にして、何が出来て、何をやってほしいのかというのを学校ときちんと話し合うことによって、そういう回数がすごく増えてくると思うので、今の回数を見ずに、これから将来のことを考えていただけるといいと思う。プラス学校司書の配置があると、さらにそういう要望が増え、配送回数とか子どもたちへの本の提供が盛んになってくるのではないかと思うので、是非これから検討していただきたいと思う。
もう一点、今ペーパーの話だが、タブレットからも見られるように公開しているということなのか。

〈事務局〉　スクリレの活用はしている。
子どもたちの持っているタブレットにダイレクトに配信をしようと思ったが今のやり方では、各学校の先生のご負担が大きいということが分かり、もう少しやり方を研究してから、子どもたちのタブレットの方に配信をしていこうかなと考えている。
今年度は出来なかった。

〈議　長〉　タブレットの負担がかかる。
学校との連絡会議の時に学校司書の方や学校図書館の担当先生の会議の時に、図書館のホームページは、「こういうふうに見れるよ」と逆に検索に行く手段を子どもたちに教え、知らせていただけるといいと思う。これから期待したいと思う。

〈委　員〉　昨日、学校図書館の貸出しが今年度ラストになった。学校の中のことではあるが、学校図書館司書が来られる、後３年生が卒業するので、３年生は先週から貸出しが終わり、返却だけになっている。本の貸出し冊数が、２年ちょっと下がってきていることを実感している。
特に去年と比べると４００冊減、１学年１００人程度で３クラスの学校だが４００冊減っているというのが大きいなと思っている。自分の学年は、なるべく授業で図書室に連れて行ったりしているが、なかなか本は増えない。本離れが凄くなっている。
多分中学１年生が小学校３年生の時にコロナを経験して、登校できない期間があって、そこでタブレットに触れることで、活字離れがちょ

っと進んでしまった。学校に来ていない期間とかで本を読まなくなった。１２歳までに本に触れるということが大切だが、調べ学習もすぐタブレットで行おうとする。本を準備してこうだよ、これで調べられるよと言ってもなかなか出来ない。
図書館司書の先生がここにこんな資料があるよという提案や提示をして対応すれば、そこに書いてあるってことがわかるが、なかなか活字から見つけ出すのが難しくなっている。デジタル化も必要だが、こういう本があるという紹介をうまく学校で取れるといいなと思っている。白井市内の学校は、学校図書館司書の方が常にいるっていう状態はすごくありがたく、調べるときに本がここにあるよっていうのをすごくピンポイントで教えてくれ、子どもたちにも分かりやすい。教員も図書館の本を全教科の先生が把握しているわけではない。図書館担当であればわかるが、教員が知らないので、使わない、活用しないと本がどんどん活用されないで、宝の持ち腐れというか、学校でも工夫はしているが、学校司書が常にいてくれて、市の図書館と連携できるといろいろな活用の仕方があると思うのでお願いしたいなと思うところである。
確かに白井市の方は、「こういう本が欲しい」というと、司書の先生が連絡を取ってくれて、図書館の方にこういう本があるとか他の学校にもこういうのが置いてあり、いつ必要なのかと言われると「いつこの調べ学習がしたい」というときに結構使う。国語だけではなく社会や理科、美術でも使える。家庭科でも使えて、結構頻繁に使えたが、今年、印西市に来て学校図書館司書の方が週２回しかいないし、来た時に忙しそうで聞けない。授業が終わるともういないので、なかなか活用が出来なかったというのが残念である。
もし印西市の図書館と連携出来れば、子どもたちに「これはどこの図書館に行くとあるよ」というと多分図書館に足が向くのではないかなと思う。学校側としては話が外れてしまうが、司書と学校の図書の担当の先生とうまく連携が出来たらいいなと思った。
来年は、２年生の職場体験をお願いすると思う。
お願いしたい。

〈議　長〉　学校現場の貴重な意見なので発言していただきたい。
一つ学校図書館の事についてだが、市川市は学校図書館が４０年も５０年、６０年も前からとても発達していて、子どもたちへの読書普及に学校図書館が果たす役割は非常に大きく、学校図書館が活発という

事は公共図書館にもそれだけ要求するので、公共図書館もそれに答えなければいけない。
市川市のずっと前の館長さんが言われていて、聞いて肝に銘じていたことがある。
今、受験シーズンだが、高校に行くと各市町村から来た中学生が交じり合う。館長さんが、市川市の高校生に言われたことは、「学校図書館での教育がすごく発達していたことが高校に行って分かった。すごくありがたかった。」と言われたそうだ。
行政において、学校図書館への貢献度が子どもたちへの読書普及の力というのがすごく大きいなと思った。白井市では、まだまだ全然その時は至っていなかったのでその時に子どもたちが交じり合った時にどういう影響が出るのかというのが、すごく図書館にとって責任があるなと感じた覚えがあり肝に銘じている。
中学校、高校の学校図書館の先生達は、公共図書館への道筋を導いていく役割もあるということも聞いたことがある。学校にいる時間が長い子どもたちにとって学校図書館というのは凄く大事で、そういう意味でも公共図書館の支援っていうのは凄く大事なことだと思うので、印西市にも頑張って頂きたい。

〈委　員〉　ブックスタートのことでお尋ねしたい。４ヶ月児を対象に本を配布しているということだが、どのような選書をしてどのような本が選ばれて何冊ぐらい配られているのか。
本は手渡しなのか、配る方に対して絵本の読み聞かせの大切さや子どもの感受性のことについて説明や話をする場があって渡しているのか。

〈議　長〉　ブックスタートは、図書館が選書には協力していると思うが、相対的に説明をお願いしたい。

〈事務局〉　子育て支援課の職員が中心となり４ヶ月児相談の時に行っている。
本の選定は、毎回同じではいけないので、ブックスタートの会議の際に３年に１回の程度で、いくつか候補を挙げたなかで選んでいる。
今年度までは、７冊選定した。例えば、「いないいないばあっ！」や「だるまさん」などを候補に挙げてそのうちの１冊を保護者に選んでいただき参加していただいた親子の方にプレゼントしている。
コロナの時期は出来なかったが、令和５年度からボランティアによる

読み聞かせを復活し、参加された方全員に、７冊の中から１冊ボランティアの方に読み聞かせをしていただき喜んでいただいている。赤ちゃんなので寝ている子がいたり本をもらうだけという方もいる。
お父さんと一緒に来ていただく方もいる。
先日、来年度の選定会議を行った。７冊から４冊に絞りその中から保護者が選んだ本を１冊配る予定である。
子育て支援課の方に聞いたところ、来年度方針が変わりころころ相談ではなく、児童館で配布を行う。その時もボランティアの方が一緒に読み聞かせをするという形になるようである。
ころころ相談（４ヶ月児）対象者へ案内の通知の際、一緒に配布券を入れて郵送すると聞いている。
来年度、形態が変わるようなので準備はしている。

〈議　長〉　サービス計画取組状況の８ページにブックスタートがあって、配布対象者数や配布対象率があるが、漏れた人にはどうするかという記載がない。
子育て支援課という違う事業課だと思うが、今後、進行管理を行っていくうえで、その記載も必ず必要になってくる。
ちょっと説明が分かりにくい。７冊のうち何冊配っているとか、４歳児に配布などの記載もないのでもう少し分かりやすく記載していただきたい。
配布率、配布対象者など知りたいことをもっと記載していただきたい。

〈委　員〉　５ページの多文化のところで、印西市も外国の方が多く住んでいる。
子どもの人数も多くなっていると思う。
図書館に英語の本は各館にあるが、他の言語の本が少ないように思う。議会でも出たが、外国の人が３，０００人ぐらいいると言っていた。
外国語の蔵書が３，０００冊ぐらいで１人１冊にも満たないと聞いた。もう少し英語だけでなく、他の国の本があれば図書館に行く楽しみも増えるのではないかと思う。
そういう多文化言語の本を増やす予定はあるのか。

〈事務局〉　出来る限り揃えていけるように努力する。

〈委　員〉　英語、中国語だけでなく、やはり色々な国の方がいるので同じ本でことばの違う本が出ていたら見るだけでも楽しいかなと思うので出来る限り本を揃えていただきたい。

〈事務局〉　統計上に載らない、言語の本も揃えてはある。それが十分かといえば十分ではないというのは分かっている。
年々、少しずつだが資料を充実させていく方向で動いている。

〈議　長〉　サービス評価指標の外国語資料のところで多分数値が入ると思うが、目標値とかは入るのか。
指標の旧評価指標の中には何か入ってくるということか。

〈事務局〉　何冊買うという数値は、今のところ考えていない。
出版状況や購入方法などがかわってくるので、数値に振り回されていた買い方をするのは、ちょっと違うのではと思う。
サービス計画を作る上で、前委員長から印西市にどこの国から来ていて、どのぐらいの人がいるのかというところから調べていかないと、という意見はいただいている。
サービス計画は１０年計画なので、年間何冊と決めると、それに向けての検証というのはおかしな話になってくるので、まずその年に何をしたらいいのか、どのようなサービスをするか。異文化講座などをやっている関係課と図書館で本の提供が出来るかなどのサービス面を考えていこうと思っているので、あえて何冊と入れるのもどうかと考えている。

〈議　長〉　指標というよりも購入冊数を入れていただければ、少しずつでも１年前と数値は変わってくる。買ってはいるのか。

〈事務局〉　統計上取れないものがある。和蔵書になり、そうすると統計で取れない。洋書は統計で取れるが、日本語と英語、日本語とフランス語となってしまうと和が入ってしまうと統計が取れない。
なので、冊数的に言うのは難しい。

〈議　長〉　そういう説明をしながら、少しずつでも入れていけば、「入っているな」と。

〈事務局〉　統計が出来ない。

〈議　長〉　ここの部分に少しでもそういうことに「配慮して入れているんだよ」ということを入れていただけると少しは進んでいるなということが分かるので入れてもいいのではと思う。希望である。
サービス計画を作るときにアンケートを行ったが外国の方は全く当たらなかったのかと今疑問に思った。そういう意見が特になかったということか。

〈事務局〉　国籍の統計はなかった。

〈委　員〉　図書館に行くと「ブックリスト」や「ＢｏｏＫ　ｄｅ　ＧＯ！」、「えほんのくに」、「としょかんつうしん」がありよく利用する。選書した本も借りている。この選書の方法はどのように行っているのか。

〈事務局〉　「ほんのタネ」、「えほんのくに」については、全館職員で選書をしている。
発行などいろいろ細かい決まりの中で職員が選書している。
図書館サービス計画取組状況についての９ページ成果の欄にＱＲコード入れたとあるが、ブックリストのＱＲコードをスマホで読み込むと図書館の検索画面に飛ぶようになっている。

〈委　員〉　目を通してみてだいぶいいかなと思った。全部見て、１個だけ気になったのは、印西市立図書館サービス計画取組状況についての１ページ目、（２）貸出・予約サービスの目標値が３４，０００人になっているが、それに対して令和５年度は２４，４９８人とここだけ少ないと思ったが、これは何か理由があるのか。
目標値に対して、実績が少ないのはなぜか。

〈事務局〉　登録者数、カードを作って借りるということが少なくなっている。
目標値として、３０％ぐらいを目指しているが、年々、図書を借りる方が減っている。何が原因かが見つからない。やはり図書離れとかがあるかも知れないし、中高生が地元の図書館に来ていないかも知れない。その原因が掴めていない。

〈委　員〉　先程、委員の話にもあったと思うが本離れというか活字離れが進んで

いるのは事実だと思うが、その中でこの目標値はもしかしたら妥当ではないのかも知れない。もう少し低い方が良いのかも知れない。もしくは、この数字が必要なのであれば、この数字に近づけるための施策をこういう場で話すべきなのではないか。
特にこの貸出件数が増えるかどうかは一番大事なポイントだと思っているので、時々話しているが、その本が借りたいのに１年も待っていないと借りられないとか、そういう状況がもしかしたら原因にあるのではないかと思っている。
そういうことをディスカッションできるといいのではないか。
２ページ目の一番上の予約サービスの向上だが、「非来館でのパスワード発行及びウェブでの未所蔵資料のリクエスト受付方法を検討し、実施を目指す。」と書いてあるが、それに対する具体的な施策が書いていないので、これは書いた方がいいと思う。
あと未だにリクエストを図書館に行き紙に書かないと出来ないというのは、事情はあると思うが遅れていると思う。それをウェブで出来るようになれば、かなり件数は増えるはずだと思う。もしそれが正しいのであれば、目標の具体的な施策に入れるべきで、それをいつまでにやるということを書くのがサービス計画の進捗表だと思う。
リクエストはいま、黄色い紙に書いている。所蔵されている物はウェブ上で出来るのはあたり前で、今は多くの図書館で未所蔵資料のリクエストもウェブで出来るようになっている。

〈議　長〉　未所蔵の物も予約できるようになっている。

〈委　員〉　そこはちょっと考えていただきたい。
３ページ目（３）情報提供及び利用者促進の今後取り込むことの中に「ＳＮＳを活用した情報発信、資料案内を行います。」と書いてある。これは一番大事なことだと思う。
これもやはりどうやって達成していくのかということが「機能の充実を図ります。」しか書いていないので、ここをどうするのか。例えば、私はＸのアカウントを図書館で作り、どんどんＳＮＳで情報発信をするのではないかと思っていたが、まだ行っていない。検討しているのかもわからない。
私は検討した方がいいと思うが、具体的なことを書かないと進捗状況表ではない。

〈議　長〉　事務局はこれに対して意見等なしでよろしいか。
少しずつ意見をいただきながら進めていくという形でよろしくお願いする。

〈委　員〉　５ページ（３）多文化サービスのところで、私も小倉台図書館に行くのですが、図書館にある外国語の書物というのは、日本人が外国語になれたい人とか、印象としては、これぐらいの単語で読めますよみたいな本があったと思う。
ベトナムの人も結構いる。印西市で外国人が生活するための書物というか、方向性として２４年度からサービス計画が始まるわけだから、１０年計画とすれば日本人で英語を勉強したい人ではなく、外国人の生活に必要な書物を揃えていくというのが市の働きと連動していたと思うが、図書館としてはそういうサービスに取り組んでいただきたいなというのが一つある。
あとは、印西市は子育て世代がいきなり増えて、千葉ニュータウン周辺は４０％ぐらい住んでいると読んだことがある。小学校もマンモス化している。子育てのための計画は色々書かれているが、お父さんたちは、なかなか本を読まないし、読む時間もないと思う。
あるとすればスマホで通勤途中に話題の実用的なビジネス書ぐらいは読みたいのではないか。シニアの人とかは文学とか余裕があって関心もあると思うがお父さんのための図書館というのを考えると働く世代のための本というのは、また違うと思うし、話題のビジネス書を見たいのではないかと思った。
そういう事に力を入れていくと、図書館の注目も集まると思うし、ブックガイドは凄く面白くていいと思う。働くお父さんのための図書館。

〈委　員〉　働くお父さんのための電子図書館があるといいですね。

〈委　員〉　子どもとその保護者のための取組で、今は大体おばあちゃんと一緒に住んでいないので不安があると思う。不安を取り除けるような実践的な本であるとか、併せて、そういった方々への、例えば助産師さんとの対話会とか心配なことを図書館で話せるとか、お母さんたちの必要に応えるような本があるといいのかなと思う。
子育て世代が注目されて増えているので、子どもたちと共に親御さん達の必要に応える図書館のサービスで、長期的な何か方向性が欲しい

なと、まだ全般的な意見しか言えないが、そういう思いはある。

〈委　員〉　資料２ページ資料展示の実施、７ページの児童書展示コーナーの充実で、一つ提案させていただきたい。
季節において大体その季節の日本の行事、おひなさまだったりクリスマスだったりと各館展示をしていると思うが、印旛図書館に関して、ここ１０年ぐらい住んでいるが、本の内容が同じものになってきていて今年行ったら、ちょっとこの本はもう借りたかなというところもあって少々マンネリ化になっている。それで提案だが、図書館にせっかくＣＤの音楽資料があるので、そちらを展示に加えてはどうかという提案である。
例えばクリスマスに関してだとクリスマス関係のＣＤってわりと入っている様子で、なのでそちらも提案として入れていただけるといいと思った。
それと、キリスト教大学さんの方はクリスマス礼拝、演奏会をやっていてクリスマスに関係のことはプロでいらっしゃるので、そちらの方の音楽的な何か提案をいただくというようなこともしてみてもいいのかなと思う。せっかく地域にあるので。
それと児童書展示コーナーのところに児童などの音楽ＣＤを加えてもいいのかなと思う。
実際子育てをしていて、子どもと過ごしているが音楽が本と共にいろどりを添えてくれていると思っている。ＣＤの方も入れていただきたい。ただ、ＣＤプレイヤーみたいなものがだいぶ減っているので、その辺はちょっと効果がどれほどなのか分からないが、あくまでも提案である。

〈議　長〉　多分これからの図書館は文庫の方達の連携は盛んになるが、地域の資源をと言ったら大学さんに失礼だが、せっかく大学がある、病院がある、色々なサークルさんがあると思うが協力いただいて行政だけでは出来ないので、地域の資源を使って図書館と連携して何か事業をやっていくという、そういう取り組みが絶対必要だと思う。図書館の力を使って資源を開発して、是非連携した事業に進め結び付けていって欲しいと今聞いて思った。お願いしたい。

〈委　員〉　パイプオルガンがある。ガルニエというフランス人が作った。
芸術劇場と同じもので、地域の方が来られると「こんなに立派なホー

ルがあったんですね。」と言われる。
今の話だと、クリスマスなんかに連携をしてコンサートをすることもできる。
今は、終わってから子どもたちを上に上がらせてパイプオルガンを触らせたりしている。そういうふうに連携してやっていただければとてもありがたい。

〈議　長〉　いい提案をいただいて是非、印西市にある地域の資源との連携というのは凄く幅広く出来ると思うので、これから考えていただけるといいと思う。
例えば、船橋市とかも病院、大学、高校等で連携を進めている。たくさん資源があると思うので、一緒に何か事業を進めてくれるといいと思う。

〈委　員〉　図書館が大好きなので、印西市の図書館がこれからも良くなるために日々、勉強会や近隣の図書館を訪問したり、地道な活動を続けている。
その中で３点ほど感想や意見、質問をさせていいただく。
まず、令和６年度図書館事業報告の４ページの共催事業のところで、「小さい子と親のどくしょかい」共催、: 木刈親子読書会とあるが、まさに当事者で令和６年度参加させていただいた。
成果にもあるが、読み聞かせの他に毎回ちょっとした読書会みたいなことも行っている。おかげさまで、継続して来てくれる親子さんや、図書館に来ている親御さんにお声をかけて読み聞かせに参加いただいて、いい時間が作られていると思う。
小倉台図書館のおはなしの部屋というコーナーがとてもいい雰囲気のところで、これは令和７年度以降も継続して、力を入れて続けたいと思う。図書館のスタッフの方と連携が取れるようにやっていけたらと思う。
２点目だが、学校関係の「スクール便」、図書館サービス計画取組状況についての７ページで公立図書館と学校図書館の連携というのがすごく大事ではないかと思っている。
先程、先生からもあったが、印西市や白井市の現場が良く分かって、この現状が少しでも良くなるようにやってもらいたいと思う。
目指すは１校に１人の学校図書館司書の配置で、少しずつ改善されていると思うが、１０年後とは言わず早い段階で実現出来たらいいなと思っている。

最後に１１ページの職員配置の充実のところで今年度、新規で司書を３名募集しますとあったと思うが、結果というか進捗状況というかどうなっているのか。

〈議　長〉　お答えできる範囲で結構なのでお願いしたい。

〈事務局〉　３名募集はしていたが、実際何名入ってくるかは分かっていない状況である。
３名募集して数十名と結構な人数の受験者数はあった。最終的に３名まで絞って、それぞれみなさん事情等ある中で、何名４月１日に入ってくるか不明である。

〈委　員〉　いつわかるのか。

〈事務局〉　３月末には分かると思う。

〈議　長〉　３名募集してくれ、本当に印西市は司書職員が足りない。現場の方達もすごく大変だと思う。まして、サービス計画も出来、私達は色々要求するし、職員が全く足りないと思うので、ここで３名募集してくれたので少しは何とかなり、いい職員が取れるといいなと思っている。
蓋を開けてみないと分からないと思うが希望通り３名取れなかったとしても、また来年、再来年と募集はかけて、きちんと入れていただければいいなと思っている。
本当に優秀な職員を採用していただき、今の職員の手助けになるような、これからの図書館を背負っていただくような職員を是非採用していただければと思う。

〈委　員〉　「印西市ならではの地域資源をどんどん活用していったらどうか」という意見で、わたしたちの市民活動団体も地域資源の一つと言えばそういうものだと思っている。
令和７年度、協働事業をやらせてもらうが、その一歩になるのかなと思っている。

〈議　長〉　事業報告のところを見て、本当に地域資源のボランティアさんに協力いただいている事業は参加人数が多いなと思う。
もう一つサービス計画がスタートして新規事業で、法律相談講座、認

知症予防講座が開催したが、残念なことに非常に参加人数が少ないと感じた。
事業報告を見ると、ブックコート体験講座やママ・パパ図書専用テープ補修体験など前からあって好評だからという話しだったので続けていると思うが、１２万人の市民の方がいらっしゃるし、図書館が６館ありサービス計画もできたので状況を見て新しい事業に取り組んでいった方がいいと思う。
今、何が求められているのかを知り、新しい事業に意識を変えていってもらいたいという意見を持ったので、少し考えていただきたいと思う。
サービス計画のところを見たところ、図書館職員って中にだけいて来る人を待っているという時代は駄目で、地域の資源を使い開発していき、利用者が何を求めているかのニーズが必要である。こういう認知症や法律相談などやった時にアンケートを取ったり、館内のアンケートもそうだが、利用者が図書館に何を求めているのかというのを知っていた方がいいのではと思う。
本の冊数、リクエストの本の冊数もそうだが、利用者のニーズの把握っていうのはこれからすごく大事なんじゃないかなと思うし、例えばサービス計画の３ページのところに図書館事業の開催とあるがやればいいということではない。何を市民が求めているのかと言う事をまず結び付けていき、そこから探り探り事業展開や資料の収集もそうだが、そういうところに結び付けていただくような施策を立てていっていただきたいと思っている。
希望として意見を述べる。

〈委　員〉　先程、若いお母さんたちに本を配布しているということで、私が子どもを産んで保育園、小学校に上げるまで、原山に住んでいてピーターパンとか親子の会みたいなことを公民館でやっていた。
今年、授業の終わりに「小さいときに読み聞かせしてもらったことある」と聞いたら各クラスに３、４人しかいなかった。
お母さんが、小さいときに読み聞かせしていないと思った。
学校では、学期に１回は読み聞かせをやろうと思い、図書室に連れて行き司書の先生に読んでもらい、新しい本が入った時は本の紹介をしてもらっている。
その時、「本の紹介をしてもらえるのは嬉しいけど、先生が読み聞かせしてくれるのはつまらない。自分が読みたい本ではないから読みたい

本を読みたい。」と言われた時にちょっとショックで親が本を読んであげていなかったというのを最近すごく実感している。
自分自身が子どもを育てていた時は、花の丘公園で遊んでいたら、親子が一緒に本が読める場所があると誘われた。子どもが小さい時は、人を集める人になったりして、育児休暇の時間を過ごした。
例えばこういう本があって本に触れられお母さんたちが本を読んで聞かせてあげようという気持ちになると本離れや活字離れもちょっと止められるのかなと思う。
子育て世代のお母さんって平日とか本当に孤独で、自分は我慢できず１年で復帰したが、何曜日に読み聞かせをしてくれるとなったら、そこに行きお友達が出来たり、学校で男性の先生で育児休暇を取る先生がいて、最近はお父さんも育児に参加している。図書館で企画をしてもらえるとお金がかからず行き場が出来ると思う。
自分自身が、子どものころは学校が終わると図書館に行っていた。
一般のお家で本を貸出ししてくれるところもあってよく行っていた。
「ドリトル先生」を全部読んだり、赤毛のアンシリーズを読んだりしていて、そういうのが思い出としてすごく楽しかったなというのがある。図書館に足が向く子を育てて欲しいというか地域で出来たらいいなと思った。
中学１年生は、お母さん、お父さんの読み聞かせが１％にも満たない。３人って聞いた時は、３３人いるクラスで３人かあと思った。そういうことがあったので、本を配布するという取り組みはすごくいいなと思った。中学生で大きいですが保護者にも是非読んで欲しいと伝えてみたいと思った。

〈委　員〉　今の話を聞いて、可能なのか分からないが、先程資源がという話もあったが、一般家庭の中に結構、色々な資源、本がたくさんあり、例えば、一度読んでしまったら「もういいよ」とか置き場がなくて困っているとか、あるいはお子さんが大きくなってもう読まない本があったり、結構捨てられたり、あるいは古本屋に売られたりということもあると思う。質問の中に書かれていたので、そういう事もあると思うが、一般家庭に眠っている本、なかなか新刊書は高くて読みたいけど買えないっていう方とかも多かったり、先程あったように図書館に来ても人気の本はなかなか入ってこなかったり１年待たなければならないと言う事もあり、その辺を聞きたい。
ブックリサイクルは、図書館の方で期限が切れたものをリサイクルし

ているが、そういったところの活用みたいなことは何か考えているか。

〈事務局〉　家で読まなくなったという寄贈本につては、随時各館で受け入れはしている。ただ、全部を登録して出すと言う事は出来ない。処分を全て図書館に任せていただくということを条件にリサイクルしたり、申し訳ないけど廃棄させていただいたり、そういう形で寄贈本は随時受付している。
前はホームページにも「寄贈本ありませんか」のようなことを載せていた。現在は確認しておく。

〈委　員〉　図書館のポスターに時々書いてある。人気の本はこれです。よかったらみたいなのがある。

〈事務局〉　昔はダイレクトにいっていた。そういう時もあったが今どうしているかは確認させてほしい。

〈委　員〉　ブックスタートが４ヶ月児に対しての行事、ブックスタートの後の子ども対するアプローチや催しものはあるのか。

〈事務局〉　報告にも載せさせていただいたが児童に対しては、おはなし会がある。子ども向けの事業としていうことで関わらせていただいている。

〈議　長〉　議題（１）「令和６年度事業の経過報告及び印西市立図書館サービス計画の進捗状況について」は、令和７年１月末時点の報告と言う事で了承をいただき、年度末の最終報告は、令和７年度第１回協議会に改めて諮るということでよろしいか。

(挙手で賛成の意)

〈議　長〉　議題（１）「令和６年度事業の経過報告及び印西市立図書館サービス計画の進捗状況について」了承された。

議題（２）令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び事業計画（案）について

〈議　長〉　議題（２）令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び事業計画（案）について事務局より説明をお願いしたい。

〈事務局〉　議題（２）令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び事業計画（案）

について説明。

〈議　長〉　事務局より説明があったが、この内容に関して質疑等があったらお願いしたい。

〈委　員〉　民話絵本について質問させていただく。
今製作中ということで、関わっていることなので、大変わくわくしている。出来上がった後の活用の仕方について、今日も「そうふけっぱらのきつね」が第１弾とすると「光堂の竜」は第２弾となり印西市の民話になると思う。全市を挙げてアピールしてもいいのではないか。
例えば、行政の中でも各課で活用するとか、どこかに置くとか配布するのは基本的だと思うが、何か考えているか。

〈事務局〉　市のイベントなどで活用いただけるようなことは検討させていただきたい。前回、「そうふけっぱらのきつね」を作った際には、絵本作家の方の講演会等もあった。今回も作成したら、作家の方に打診をして確認を取らなくてはいけないが、そういう場のことも検討させていただきたい。

〈議　長〉　著作権は、有賀忍さんにあると思うので、発行されたら各館６館でその絵と共に本を展示したり、回していくとか是非工夫していただきたいと思う。

〈委　員〉　今、「光堂の竜」の作成が進んでいるという話、とても楽しみにしている。
大森、小林図書館の３０周年記念バックを作る時に「光堂の竜」の有賀先生の絵をバックに入れてもらえたら印西の宣伝になるし、持っていて楽しいのではないか。
小倉台図書館の記念バックを作った時に購入して、今も使っている。色々印刷するには難しいところもあると思うが、せっかく描いていただいた絵を活用できたらいいと思う。

〈事務局〉　参考にさせていただく。

〈議　長〉　このバックの作成だが、何枚作る予定なのか。その絵柄というのは決まっているのか。

〈事務局〉　絵柄はまだ決まっていない。

〈議　長〉　印刷にもお金もかかるでしょうし、その辺を工夫していただけたらと思う。

〈委　員〉　本埜と印旛図書館が休館になってしまうが、印旛図書館は、臨時窓口が作られるということだが、図書館機能はなくなるのか。
予約した人への貸出、返却があるだけなのか。

〈事務局〉　印旛の臨時窓口に関しては、今おっしゃったとおり、貸出、返却、リクエストのみで本を置くスペースはない。

〈委　員〉　本埜図書館は、近くのそうふけ図書館まで行ってくださいということか。
それでいいのかなと私は思っていて、例えば本埜であれば、フォレストモールの辺りに住んでいる方はそうふけ図書館に行くには車で行かなくてはいけない。それって、我々は印西市の図書館サービスを充実させよう、いいものにしようと言っているのに、明らかに地域住民のサービスが低下する。なにかできないのかと思っていて、資料を作ったので回してもいいか。
資料にコンビニ図書館と書いてあるが、要するに大きな図書館が必要ではなく、本当に最低限のサービスでいいので、地域の住民に借りたい本を見せて貸出し、返却と予約が出来るサービスが出来ないかと思っている。
地域の図書館が老朽化して建替え等で休館というのは避けてとおれない。でもそのために１年くらいの間遠い図書館に車で行ってください。それでいいのかなと思う。
例えば印旛図書館だったら印旛支所の会議室か市民サービス課の窓口に１，０００冊ぐらいの本は置けるのではないか。１人いて端末１台あれば貸出しできると思う。そういうことが出来ないのかなと思う。そんなに装備も施設もいらない。
施設イメージの資料のところに書いてあるが、例えば今週は、東野圭吾、来週は、佐伯泰英。佐伯さんなら文庫本で１つの棚を作れるぐらいの本があるので、あそこに行けば楽しいんだなと何万冊もないけど、人気の本はそこにあるんだな、新刊がそこにあれば、必ず行って

みたいと思っている人はいると思うので、そういうサービスを考えてみませんかという意見である。
先程、印旛図書館に１０年通っている方もいたと思うが、やはりそこにいくと楽しみがあっって、出会いもあって大切な空間である。
狭くてもいいし、沢山の本なんかなくてもいい、みんなが借りたいと思っている本が週替わりや土日だけでもいい、何かそういう工夫をすれば、印西市の図書館は頑張っていると言われる。新しい試みにならないかなと思っている。
下に書いたが、船橋市や市川市では移動図書館（ブックモービル）をやっている。千葉県が一番早かったと書いてあるが、例えばこういうのでもいい。
今だったらナリタヤの駐車場にケバブなんかを売っているところを借りて、移動車を置いて、子どもがそこに来て児童書の本を借りていくなんてすばらしいと思う。本埜図書館ならフォレストモールの駐車場に移動車を置いたり、空き店舗をリースで借りてでもいい。こういうことをやってみたい、やってみませんかという提案です。こういうことをこの場で討議すると、印西市の図書館が良くなるなっていう感じがした。

〈議　長〉　もう間近に迫っているが、何らかの工夫をしていただけると、移動図書館車があり回ってくれるといいが、なかなか無いので、車で運んでコンテナの中でやるとかそういう方法もあると思うので、工夫して取り組んでいただけるといいと思う。
これに対して事務局から何か意見等あるか。

〈事務局〉　先程、印旛支所の臨時窓口に１，０００冊ぐらいは入るのではとお話があったが、プレハブがあると思うが、あの場所に支所機能も入るので空いたスペースはない。

〈委　員〉　図書館の本棚３つあれば、１，０００冊置ける。

〈事務局〉　そのスペースもない。

〈委　員〉　本棚３つ置くスペースもないのか。

〈事務局〉　なので、そこに本を置くスペースはない。

ＯＰＡＣは置き、返却ポストは置く。連絡車も回す。
本当は本があればいいと思うが、スペースが限られている。

〈委　員〉　本当は本があればいいが、そのスペースがないという時に、移動車の例を出している。先程、議長がいったように別にどんな形でもいい。駅だっていい、スーパーや公園、コンビニだっていい。ちょっとした場所にランキング上位に載るような、あるいは子どもたちが学校の感想文に使う本とか、今の大河ドラマでやっているような感じです。そういうことを今までやらなかった。休館の間我慢してください。そうではなく、印西市は頑張ってここまでやっています。すごく拙いサービスだけど、地域住民のために本を持ってきました、そういうことをやるべきではないかと。

〈議　長〉　何らかの検討をしていただけるといい。
これから順次改修工事があると思うので、何らかの形で本を届ける手立てを探していただけるといいと思う。
船橋市はたまたま移動図書館が動いていたので、閉館のところに車を回していたりしていたが、バンにコンテナを乗せていくとか、そういう方法もあるのかなと思うので、ちょっと工夫していただき閉館のところがあると早目に何が出来るのか考えていっていただけるといいと思う。
来年度の予算で、図書購入費だが、３５０万円増額があると言う事で館長さんの努力もあって、令和６年度は５００万円上がり、来年度は３５０万円上がりますということで、上がるのは大変喜ばしいことだが、千葉県の公共図書館の平均値に届いてない。
是非、１２万都市の不交付団体なので、千葉県の公共図書館の平均値を上回るまで頑張って資料費の確保を頑張っていただきたい。
印旛図書館の本はずっと古いままなので、来年入れ替えて欲しい。
図書館を良く利用する方は、本の入れ替えがないなというのはすぐわかってしまうので、新しい本が入ったとわかるような資料購入費の獲得に努めていただきたい。

〈委　員〉　ちょっと質問ですが、平均値というのはどう調べるのか。

〈議　長〉　千葉県公共図書館協会でまとめている。資料費を人口で割って平均値が出る。

平均値が１５０円だが、印西市は１３０円ぐらいである。
今、ちょっと上がったかも知れないが、県内の平均が１５０円にも関わらず、印西市は、公共図書館の平均値まで行ってないので、それを何とかしてくれとずっと言っていた。令和６年度は５００万円、来年は３５０万円だが、１２万人都市なので、平均値まではまだまだ届かない状態というのをいつもいっている。是非、職員のみなさんには頑張って予算を獲得してもらいたい。利用者が多いにも関わらず資料費が少ししか上がっていない。

〈委　員〉　机に置かれていた「令和６年度印西市立図書館協議会質問回答」を今回いただいてすごくいいと思う。今までどうなっているのかなと思っていた疑問が解決して良かったと思う。
この中に複本については県内と比較しても妥当な冊数と考えていますと書かれているが、今のお話ではないが、何をもって妥当と考えているのか。

〈事務局〉　人気のある本ということで、予約件数を比較し一人辺り平均２２日ぐらい待っていただく。他市の図書館はどうなのか調べたところ、一概に本があるとは見られない。３１９件の予約に対して８冊、市川では７４６件に対して２７冊、例えば、１冊に対して何人待ちみたいな平均が出てくる。そういう計算をし、比較すると同じぐらいかなという考えで、あまり買えないというか何冊まで買ったらいいかというのは難しいところである。

〈委　員〉　先程、議長がいっていた人口比で何らかの物差しにあててみたら、今の印西市は他の自治体よりも優れている、あるいは相当の数を揃えているということが分かればいいと思う。

〈議　長〉　印西市の場合、若い人の人口が多いし、図書館６館はいい場所にある。若い人の人口流入が多い、子育て世代で図書館の利用は非常に多いのに資料費が少ない。図書館利用が多いというところをＰＲしていけば少し上がると思う。そういう状況だからもっと資料費の投入が行政からあってもいいと思う。予算があれば、もっと複本も買える。若干、書店や作家さんの遠慮はあると思うが、やっぱり予算があれば複本もたくさん買える。
成田市は予算があるから１ヶ月待たさないとか豪語していて、今はど

うか分からないが、予算があれば買えるが、利用者に対して予算が少ないというのがネックだと思う。
増やして頂いているがまだ少ない。

〈事務局〉　令和４年から比べると令和７年度は、紙資料費だけでお話すると、令和４年度は、紙資料費だけで１，４００万円だった。令和７年度は、１，０００万円ほど上がっている状況である。
資料の入れ替えもして、傷んだ本を修理して一生懸命頑張って本も入れ替えをしている。複本も必要というのは分かっている。予算に関しては頑張っていこうと思っている。

〈議　長〉　よろしくお願いしたい。
教育長や新しい市長にもＰＲしていただき、市民の利用が本当に多いので、そこの部分には行政として応えていかないといけないと思うので職員のみなさんに頑張っていただき上の方達に声を届けていただきたいと思う。
来年度の運営方針についてよろしいか。

〈委　員〉　本埜図書館を利用していて、長い間使えなくなってしまうのはとても残念である。
今は借りた本を近くの図書館に返していますが、やはり図書館に行くときについつい返却本を持っていくのを忘れてしまうことも多く、先程も言われていたようにフォレストモールに図書館がなくても、せめて返却場所があったら気軽に本も返却できるのでなないかと思う。
それと駅にも返却場所があれば、出勤するお父さんにお願いして返却してもらったり気軽に返却できると思う。
図書館の返却ポストもあるが、開館時は返却ポストに返却出来ないですよね。
図書館が休館じゃないと使えないのでは。

〈事務局〉　開館時は、基本窓口に預けていただきたいが、忙しい方もいるので返却ポストを利用していただいてもいい。

〈委　員〉　駅とか身近なところに、返却ポストがあったら、もっとよりよく使えると思うが、そういう計画や検討はないのか。

〈事務局〉　今のところ駅に置くつもりはない。
先程、お話ししたとおり、今は資料の整備に努めている。

〈議長〉　他に何かあるか。
議題（２）「令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び事業計画（案）について」は、事務局で可能な限り反映していただき、令和７年度第１回協議会で諮るということでよろしいか。
（挙手で賛成の意）
〈議　長〉　議題（２）「令和７年度印西市立図書館運営方針（案）及び事業計画（案）について」は了承された。

議題（３）　「印西市子ども読書活動推進計画」について
〈議　長〉　子ども読書活動推進計画は、地域、家庭や学校が連携して、子どもの読書活動推進を支援するというスタンスになっている。
印西市の場合、以前、生涯学習課で事務局をやっていたのが３、４年前だと思うが、図書館の方に移管された。
この子ども読書活動推進計画は、作りあがった時点で図書館に移管された。
私は図書館の人間だったので、図書館というのは出先機関であり事業課なので、推進計画の事務局を負わされるのは、しかも関係各課にまたがって事業を進めていくのは大変なことである。
前館長に聞いたところ職員も特に付かないまま、この子ども読書推進計画が来たと大変困惑していたのを覚えている。
ただ、来た以上、条例も決まっているので、進行管理をしっかりやっていくしかない。今後もずっとやっていくので、大変なこととは思うが、現状の意見を伺っていきたい。
事務局より説明をお願いしたい。

〈事務局〉　議題（３）「印西市子ども読書活動推進計画」について説明。

〈議　長〉　計画を作った時に、パブコメがあり協議会委員をやっていたので意見を求められたので、その時にも言ったが外部委員を入れてもらいたいということ。
計画が８年までなので８年に作り始めると思うが、外部の方を入れていただき、目標値を設定して欲しいとお願いした。今後よろしくお願いしたい。

進行管理について意見はあるか。

〈委　員〉　議長から子ども読書活動推進の事務局をやることになったという経緯を聞いて、そういうことなのかとわかった。
色々な部署に関連して、大変な業務ということも再確認したが、子ども読書活動推進計画と図書館サービス計画は先を見据えた計画ということで、リンクしていることもたくさんあると思う。
その進捗状況も何か分かりやすく出してもらえると入ってきやすいし意見も分かりやすいのでは。
先を見て、今何をやっていくのかということを両方の計画に示されたらいいのかなと思う。

〈事務局〉　印西市は図書館６館ありますが、その地域で運営されていいと思っている。地域に合わせた利用者層、年齢層があるのでそれぞれ違ってくると思う。先ほど司書が少ないというお話もありましたが、司書がもう少しいれば図書館を色々な年齢層の方にアピールすることもできるが現状は少ない。そういったこともサービス計画の中に盛り込んでいけたらと思う。また、６館あるが、配置についてもこれでいいのかというお話もあります。そういったことも議論の中に含めて行けたらいいと思う。また、資料を収集し提供することや保存することも図書館の役割ですので、盛り込んでいけたらと考えている。

〈委　員〉　この推進計画は、計画は教育委員会で作っているから、この計画も教育委員会で作成されたと思っていたが図書館の職員の方が作ったのですね。
凄く大変な作業だったと思う。
この中でサービス計画の中にもあるが、図書館ボランティアのことに対しても出ている。そのボランティアに対して以前にも言ったと思うが、印西市で今、活躍、協力している図書館ボランティアが、どのぐらいいるのか分からなく、おはなし会でボランティアしているよという声を聞いたりする。
私もボランティアでおはなし会に参加しているが、１人で出来るものと２人、３人いたらできるものを考えた時に、どう声をかけたらいいいかわからないので、ボランティアの集まりと研修を是非、開いて欲しいと思っている。
ボランティアに対しての情報交換や講習会を開きたいと思うので、是

非、令和７年度は計画の中に入れて欲しいと思っている。

〈議　長〉　進行管理表について、すごく大変だと思うが、目標値の設定がないので、なかなか評価しづらい。単年度の報告は出ているので、何人出席したとか実施した、継続でやっているという、そういう報告だが、目標値を作ることはもうできないので、せめて経年度の推移を載せていただきたい。４年からだから４,５,６,７,８年と全部載せるとペーパーも大きくなると思うが、経年と変化は見たい。
出来れば目標値を設定してもらいたいというのは希望である。そうでないと評価が出来ない。
あと経年度の数値を載せていただきたいと思っている。
夏頃会議ということなので、前回の協議会で会議録が見つからなかったという意見があったので、会議録も見られるようにしていただきたい。
なかなか活発な委員さんもいるので、どういう経緯でどういうふうに成り立ったかというのを、皆さん大変興味があり注視していると思うので、是非、表示していただきたい。
出先機関や事業課に進行管理が必要な計画を持ってきているので、本当に大変だと思う。
図書というと図書館にきてしまうが他の課を叱咤激励するようなアドバイスもできるような進行管理と、子どもの読書活動の支援というのが大事だからこそ、こういう法律が出来たと思うので、是非、図書館の立場から関係各課を支援していただければと思う。
また、連絡を密にしていくことも推進する上で大事だと思うのでお願いしたい。
先程、配られた協議会の運営についてというのが気になるので説明していただき私達に刺激をいただければと思う。

〈委　員〉　おかげさまで１年務めさせていただき、何も分からないままやってきたが、ちょっと雑感をここに書いた。
今年が初めてで、任命されても何を我々はしなければいけないのか、ミッションが分からず、ちょっと時間がもったいなかった。
次回の時は、必ず任命前に「あなたにこういうことを諮問したいんだよ、これについて意見をして下さいね、年間のスケジュールはこうだからこういうことを考えてね。」というガイダンスを必ずして欲しい。そうじゃないともったいない。

１１月の議題だが、議長がいっていたので同意だが、ここに書いたとおりにした方がいいと思う。
いいたかったのは、協議会の回数が３回しかないので、議題に対する質問や意見を協議会の前にやり取りしてポイントを絞った討議をこの場ではしたい。今日は割といい感じだったと思うが、過去２回は何を話すか分からないままここに来て報告を受けて、我々の意見も感想であり、思い付きですごく薄い。だからもっと前に話すことを決めて、資料は送ってもらうのだから、一段階クッションを置いて、協議会の前に、我々の意見を拾い上げてほしい。ほとんどは、「そうですね、わかりますね、」で済む質問も多いと思う。
その時間がもったいないから、それは置いといて、本当に話すべきテーマを決めて事前に話をしてここに来たい。そうすると、ものすごく密度の濃いディスカッションが出来ると思う。それをやりたい。
全てが郵送でのやり取りで、今時、郵送なのかと思う。お金も事務局のテーマも大変だから、メールにしませんか。メールで我々の意見を拾い上げて、議長の仕事が増えてしまうことになるかも知れないが、取り纏めて次の議題は、「協議会でこれを話します、考えておいてください、意見持ってきて下さい。」ということをやってから協議会に臨みたいと思っている。

〈議　長〉　凄い宿題をいただき、事務局と相談して、何らかの形で改革したい。
議題（４）その他について何かあるか。

〈委　員〉　今回の議会でも議員さんが質問されていたり、前回の協議会でも課長がおっしゃっていたことだが、牧の原に複合施設の計画があるのかどうか進捗状況を伺いたい。もうその中に図書館の構想があるのなら、どういうようになっているのか気になっている。
もしわかっているならお知らせいただきたい。

〈議　長〉　何か分かっていて、お話できることはあるか。

〈事務局〉　牧の原についてはまだ何も決まっていない。

〈議　長〉　他に事務局から何かあるか。

〈事務局〉　本日の予定は、すべて終了いたしました。

これをもちまして、令和６年度第３回印西市立図書館協議会を終了させていただきます。

令和６年度第３回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和　７年　５月　９日

印西市立図書館協議会

委員　中　嶋　由　美